



市会議員

西野さち子です

くらしの目線で市政を変える

こんにちは
日本共産党

来年2月京都市長選挙

本田久美子さんと市政を変えよう!!

桃山南学区で議会報告会

急ぎよ会場が変更になりましたが、部屋いっぱい参加者で質問も多岐にわたりました。

馬場府議からは日本共産党が提案している国民連合政府と府議会報告。西野市議からは市長選挙と市会報告がありました。

報告の後、参加者からの質問は「郵貯銀行からマイナンバー記入の予告が来た」「電力の自由化が始まる。どう対応すればいいのか」「URの統廃合が国会で議論されているという赤旗の記事があった。具体的な内容が知りたい」「京都駅西の水族館の近所に住んでいた。民間の活力でまちの活性化ができるならいいことではないか」等な



切実な願いが次々と語られました

ど様々な角度からの質問が相次ぎました。

西野市議は「民間活力というけれど、住民の生活に活力ができるのならないが、水族館でにぎわっているのはほんの一部、商店街は活力とは程遠い。都市再生緊急整備地域に指定された地域は、住民が住み続けられなくなる可能性も出てくる。地上げが進む可能性もある」と説明しました。

アスベスト被害の今後をみんなで考えるシンポジウム

10月17日にキャンパスプラザで開かれたシンポジウムでは、「大阪府立金岡高校アスベスト飛散事件と学校アスベスト」と題して大阪アスベストセンターの伊藤泰司氏の特別講演がありました。

「金岡高校では、耐震補強工事で設計図には書かれていない軒天の下から吹き付け青石綿が露出しているのをたまたま構内の環境調査会社の職員が発見してわかった」

「学校の教材・材料にもアスベストがある。アスベスト（白石綿）の原石の蛇紋岩を教材として販売していた」など学校



にはアスベストが多い。学校の教師は危険職種とされている国がある。日本でも2006年から2011年の6年間に137人の教員が中皮腫でなくなっている」との報告に驚きました。教員と子どもが危ないと報告されました。

市政報告

西野市議の主な質問

就学援助金制度の改善と遠距離通学の補助制度の拡充

就学援助金制度の入学支度金は入学してから申請し、支給は5月から6月でしたが、入学までに支給できるように改善すべきと前回に引き続き求めました。1か月早くすると答弁がありました。遠距離通学の交通費負担は大変です。

東山開晴館小中学校では無料の市バス定期券を発行しています。義務教育なのだから同じ条件にすべきと求めました。



水門操作を住民に委託するのは問題

国は三栖の水門の操作を地域の自治体に委託しています。大雨の中で危険な作業を住民に委託するのは無責任です。行政が責任を持つべきです。小栗栖排水機場の浸水被害の経験を生かして行政で責任を持つように求めました。局長は「調査する」と答弁しました。